

東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

生産者・生産者団体とともに

日本を、食卓から元気にしたい。

## 力をあわせて乗り越えよう！

4月14日（木）「コープネットエリア産地協議会」をJA全農青果センター（埼玉県戸田市）で臨時に開催し、コープネットと農産物の取引がある生産者団体やJAが参加をしました。

今回の会合では、生産者団体の皆さんから震災後の実情をだしていただき、あらためて、この困難に生産者・生産者団体の皆さんとともに立ち向かって、農産物の消費拡大をすすめていくことを確認しました。



▲ コープネットエリア各県の生産者団体代表者。  
◀ 茨城ふるさと産直ネットワーク奥貫事務局長より報告。

- ▼ コープネット赤松理事長（右）からコープネットの状況を含めて挨拶。
- ▼ 全農青果センター(株)営業開発部入谷副部长（左）から報告。



### 店舗



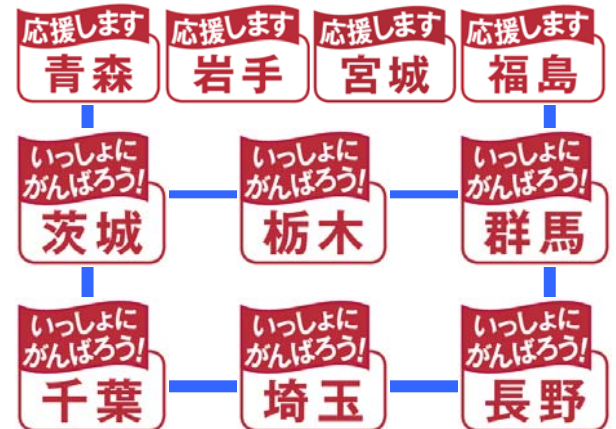
### 生産者応援企画

4月16日、コープニッ宮店（さいたまコープ）移転新店予定地で、「東日本復興支援コープ大即売会」を開催し、埼玉産直センターや川越地域生協出荷組合の農産物等を販売しました。

2時間で約1200人が来店し、収益は募金へ。

### コープデリ宅配

5月2回より、県別で企画



## 義援募金

20万人超  
3億5千万円超  
(4月15日現在)

大震災から1ヵ月を迎えた4月11日、さいたまコープは、「義援募金」を店内放送やレジなどで呼びかけました。コープ南浦和店、武蔵浦和店、浦和東店では、組合員と職員が呼びかけに参加。

コープぐんまでは、4月5日、6日の両日、5店舗の店頭で職員6名と組合員25名が参加し、「一日も早い復興を祈っています」「みんなが笑顔で暮らせますように・・・」などのメッセージをいただきました。募金額は、約24万円。



コープぐんま



さいたまコープ

震災は想像をはるかに超え、復旧・復興までにはまだまだ長い時間がかかります。コープネットグループは今後も、被災地の支援や地域での被災者・避難者の支援に取り組むとともに、組合員の皆さまの、毎日のくらしに貢献できるようコープデリ宅配・店舗の事業安定化に全力を挙げてまいります。